

# 公民館においてよ!

子ども達が安全に

学校へ通える地域へ

宮城 眞一さん



▲自治会の取組を紹介するパンフレットが完成しました!

## 子ども達の成長を見守る喜び

(左から)佐伯つつじ書記、米須隆自治会長、宮城眞一さん、ミニデイボランティアの皆さん



自動車工場前で交通指導をする宮城さん  
～元気よい挨拶が飛び交う～

### 愛知区自治会

☎892-1766

#### 自治会(公民館)の紹介

平成24年2月に19区自治会から愛知区自治会へ名称変更し、教育隣組、青年会、婦人会、老人クラブ、各種サークルが活動しています。

小、中学校と連携した地域での子育て、高齢者の見守りや福祉活動の充実、青年エイサー等文化の継承、防犯活動や各スポーツ大会等、年間を通して様々な事業を楽しみながら取り組んでいます。

また、平成29年には老朽化した公民館を改修し、施設1階のバリアフリー化、空調機や照明のリニューアルなど、区民にとってより利用しやすい施設となっています。ぜひ施設をご活用ください。



会議、集会等ができる1階ホール

各自治会の年間行事を市ホームページに掲載しています。次回は、中原区自治会です。

#### ■毎朝笑顔で子ども達を学校に送り出しています

20年前より自身が経営する自動車工場前で、朝の交通安全活動(交通指導)を続けています。

交通安全活動を始めたきっかけは、当時親族が歩行中に車の接触事故に遭い、車の危険性を感じたことでした。幸運にも大事には至らなかったのですが、改めて歩行者の安全について考える機会となり、自分なりに歩行者の安全を守るお手伝いができなにかと考え、自動車工場前の交差点で交通安全活動を始めました。



宮城 眞一さん  
(さわやか会)

20年の月日は、あつという間で、今では毎朝地域の子も達を元よく学校へ送り出すことが私の日課となっています。

■活動源は子ども達の笑顔と挨拶  
私にとって交通安全活動の最大の喜びは、子ども達の元気な笑顔と挨拶、成長を感じられることです。

小学校入学時には、幼くオドオドしていた子が、2年生・3年生になるにつれてワンパクな男の子に成長したり、小学校卒業後も毎朝元気に挨拶してくれて、その成長を目にすることができると、とても感慨深いです。

この年齢になっても地域と関わり、地域へ貢献できることもありがたいです。

そして、交通指導員同士の交流も、交通安全活動を長く続けられている秘訣です。

#### ■今後も地域の交通安全に携わることが目標です

早いもので交通指導員を始めて20年が経ち、80歳を超えたのですが、あと5年は元よく交通安全活動を続けたいと思っています。

仕事を退職した方、事業所の方にも交通安全活動はお勧めです。子ども達から元気なエネルギーをもらい、毎日が生き生きします。

あなたもいかがですか。



地域の子も達からの“似顔絵感謝状、よせがき、年賀状”は私の宝物です。